

# 正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2020年3月11日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

## タイトル

# 材料力学 第3版・新装版

## 正誤対象

お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数				
1	対応刷数	1	より	4 までをご参照ください
2	対応刷数	2	より	4 までをご参照ください
3	対応刷数	3	より	4 までをご参照ください
4	対応刷数	4	を	ご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません			

## 刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
4	7	5行目	…をポアソン数…	…をポアソン数…
4	10	3~9行目	…到達する. 図 1.8 の…降伏点とされる. しかし,	…到達する. 図 1.8 に示すように, 応力が $Y_u$ まで上昇したのち, $Y$ まで降下することもある. この場合は, $Y_u$ を <u>上降伏点</u> , $Y$ を <u>下降伏点</u> と呼ぶ. 上降伏点の値は, 同一材料でも試験機の構造や試験片の形状, 荷重の増加速度などに影響されやすく不安定であるが, 下降伏点はそれらの影響を受けることなく安定した値であるので, 学問的にはこの方が <u>降伏応力</u> (yield stress: $\sigma_Y$ ) とされる. しかし,
1	19	演習問題 1.1	…軟鋼製丸棒が 500kN…	…軟鋼製丸棒が 50.0kN…
1	19	演習問題 1.2	… , 外径 1500.0mm の銅管が…	… , 外径 30mm の銅管が…
1	25	式 (2.23)	(右辺分母) $E_0 A_a + E_b A_b$	$E_a A_a + E_b A_b$
2	27	演習問題 2.1 2行目	…比重量 $\gamma = 7.87 \times 10^3 \text{ kg/m}^3$ , …	…比重量 $\gamma = 7.72 \times 10^4 \text{ N/m}^3$ , …
3	28	演習問題 2.7 3行目	…棒の線膨係数を…	…棒の線膨張係数を…
2	43	図 4.7 BMD 図	$\frac{ab}{e} W$	$\frac{ab}{l} W$
2	53	式(5.18)	$Z = \frac{\pi}{4} r_3^3 = \frac{\pi}{32} d^3$	$Z = \frac{\pi}{4} r^3 = \frac{\pi}{32} d^3$
2	64	9行目	$EI_z \frac{d^2 y}{k^2} = -M$	$EI_z \frac{d^2 y}{dx^2} = -M$

2	67	下から 2~1行目	$\therefore W_2 \leq 819 \text{ N}$ $\sigma_{\max} = \frac{M_{\max}}{\frac{1}{6}bh^2} = \frac{800 \times 600 + 400 \times 819}{\frac{1}{6} \times 40 \times 60^2} = 33.65 \text{ N/mm}^2 = 33.6 \text{ MPa}$	$\therefore W_2 \leq 780 \text{ N}$ $\sigma_{\max} = \frac{M_{\max}}{\frac{1}{6}bh^2} = \frac{800 \times 600 + 400 \times 780}{\frac{1}{6} \times 40 \times 60^2} = 33.0 \text{ N/mm}^2 = 33 \text{ MPa}$
2	132	例題 9.5 解 6行目	$\bar{y} = \frac{1}{1900}(120 \times 10 \times 6 + 70 \times 10 \times 5) = 39.7 \text{ mm}$	$\bar{y} = \frac{1}{1900}(120 \times 10 \times 60 + 70 \times 10 \times 5) = 39.7 \text{ mm}$
2	132	下から 6行目	$J_{xy} = \frac{10^2}{4} \times 120^2 + \frac{10^2}{4} \times 80^2 - \frac{10}{4} = 51.8 \times 10^4 \text{ mm}^4$	$J_{xy} = \frac{10^2}{4} \times 120^2 + \frac{10^2}{4} \times 80^2 - \frac{10^4}{4} = 51.8 \times 10^4 \text{ mm}^4$
2	133	5行目	$\therefore \theta = 23^\circ 45'$	$\therefore \theta = 23.7^\circ$
2	167	図 12.3	右のように変更	
2	175	式(12.51)	$\sigma_t - \sigma_r - r \frac{d\sigma_r}{dr} - \gamma \frac{\gamma^2 \omega^2}{g} = 0$	$\sigma_t - \sigma_r - r \frac{d\sigma_r}{dr} - \gamma \frac{r^2 \omega^2}{g} = 0$
2	177	例題 12.4 1行目	…， 内径 5 mm の…	…， 内径 50 mm の…
4	177	例題 12.4 問 3行目	…7.8 × 10 <sup>3</sup> kg/cm <sup>3</sup> ， …	…7.8 × 10 <sup>3</sup> kg/m <sup>3</sup> ， …
2	177	例題 12.4 解 3行目	= 24.82 × 10 <sup>4</sup>	= 24.81 × 10 <sup>4</sup>
2	177	例題 12.4 解 4行目	$\therefore \omega_{\max} = \sqrt{24.82} \times 10^2 = 498 \text{ rad/s}$	$\therefore \omega_{\max} = \sqrt{24.81} \times 10^2 = 498 \text{ rad/s}$
2	206	2.1	… λ = 698 mm	… λ = 708 mm